

令和元年度

事業計画

誠染保育園

平成31年度 誠染保育園 事業計画

(めざす姿)

1.平成27年度より、国の子ども・子育て支援新制度が導入され、従来の保育園・幼稚園の二大体制から、認定子ども園の新設や移行、地域型保育事業等(小規模保育・事業所内保育)等、多様な事業体の参入が推進されてきている。

当園は、社会福祉法人の立場から保育を必要とする側に立ち、当面は、保育園としての機能をより充実させることにより、地域の保育ニーズに的確に貢献していく事とする。

2.平成28年度より、社会福祉法一部改正に伴い、より一層、社会福祉法人としてのガバナンスの強化、運営の透明化、又、平成30年から公益的な取り組みの実施による地域社会の貢献等が求められているが、当園はその社会的責任を果たし、地域に密着し、子供の健全な心身の発達に最善をつくす所存である。

3.当園のビジョン実現を目指すため、保育目標を常に日常の保育に取り入れ職員一丸となって安全保育、笑顔の保育に心掛ける風土を醸成する。

(基本方針)

誠染保育園の平成31年度は、当園の保育サービスや運営のノウハウを次なる事業展開より取り組むこととする。

1. 基本理念、保育目標に基づき、定員90名を基準として、保育事業を展開する。

但し、地域の要請により、入所については定員枠を超えて、入所希望園児を法定限度まで受け入れられるように、職員の配置等、弾力的に対応することにより、待機児童等の解消に寄与していきたい。

2. 幅広い保護者の就労スタイルに対応するため、特別保育事業として、延長保育事業、乳児保育事業、休日保育事業、個別支援保育事業を実施し、又、一時預り事業が独立した事業として区分されたので、より充実した事業に育成し、あらゆるニーズに添えていきたい。

尚、育児に関する相談の受け入れに際しては、相談しやすい雰囲気作りを意識して行うこととする。

3. 特別な配慮を必要とする児童や保護者の対応について、職員の共通理解と連携のもと、その児童、家庭に応じた配慮、支援を行うこととする。
4. 発達の違いのある児童の保育にあたっては、ADHD、LD、自閉傾向、情緒不安定等程度に応じた保育ができるよう配慮し、家庭と専門機関との連携を密に行っていき、統合保育の中で園児達が個別支援児を理解し、思いやりの心が育まれるような環境づくりに努める。
5. 敬老の心を培うため、老人ホームとの世代間交流の場を積極的に設けていくこととする。(盲人老人ホーム恵明園)・(ディ・ケア施設)
6. 保育園近隣(東公園等)のゴミ等を収集する事により地域に貢献し、公德心を育む。又、数年前から頑丈なゴミ箱を設置し、近隣の住民に活用して頂いている。
7. 情操保育(ちびっこ鼓笛隊・和太鼓・ちびっ子踊り隊)自然体験(稲作り・じゃが芋・枝豆の栽培・花及び枝豆の種まき)、体力づくり(剣道・スポーツチャンバラ・函館マラソン、歩くスキー)動物愛護(熱帯魚・めだか・亀・小鳥の飼育)を通して、子供たちが心身ともに健康でたくましく育っていきける環境づくりを提供することとする。
8. 児童の発達に合わせた安全保育に留意し、関係機関の協力のもと、誠染保育園幼年消防クラブ、こくまクラブ(交通安全)等、防災・交通安全指導を徹底する。(園の近くの交差点に標識を設置し、交通安全に努めている)
又、幼年消防クラブ員として消防署の協力のもと、地域での防火 PR 活動を実践し、園児の意識づけを促す。
9. 平成 30 年度施行の新保育指針に基づき、全職員に適切な研修機会を提供しキャリアパスの明確化を図り質の向上をめざす。
又、国の幼保一体化案を踏まえて、3 才児以上に教育的要素を取り入れた保育を実践する。
例として、江別市は 2 年前から、小学一年から英語教育を取り入れているが、当園は 5 年前から英語遊びを取り入れている。
10. 従来より、心身の健全な育成方策を保育に取り組み、元気な園児の姿を目指しているが、それに加えて誠実な心、感謝する心、又、英語遊びにより異文化の理解をふかめ、広い心をもつ人間性を養うために、それを三つの言葉(感・誠・元)に集約して徹底する。

当園は、平成 18 年度に園舎を新築してから約 13 年経過したが、外壁、内装、ベランダ、フェンス等改築を要する状況となり、平成 26 年から平成 27 年の二カ年で改修工事を早め実施する事で、園舎の長期の安全性、耐久性の確保を目指してきた。

又、運営の透明性を計る意味で、ホームページの開設や保護者の IC カードの導入を実施してきた。

更には、江別市の安心子育てプランを推進する為、市や地域との連携を強化し、多機能的保育サービスをより積極的に提供し、地域のニーズに対応できる保育園として役割を果たす事を目指してきた。

平成 29 年度は、内部の経年劣化に伴う広範囲に渡る補修や設備の更新・新設等の工事目指すため、各居室の収納解消を図るため、収納用家具・棚・移動式収納庫新設及び遊戯室の床の新規貼替え、更には、ボイラー室・調理室等の老朽化に伴う機種の更新充実等、又、車上荒らし、不審者の出入り等を監視する為、防犯カメラを設置する等物的環境面の充実を実現できた。

平成 31 年は、4 月からほぼ隣に新しい保育園が運営される事もあり、当園としては選ばれる保育園になる為に、保育士等の処遇改善、職員のスキルアップ等、人的環境面の充実により、園児、職員が楽しく過ごせ、それにより働く保護者のニーズに最大限応えられる保育所としての地位の確立を実現する所存です。